

石油業界における地球環境保全自主行動計画

2013 年度フォローアップ結果について

石 油 連 盟

1. 石油製品の生産及び配送部門における省エネルギー効果

(1) 製油所エネルギー消費原単位（自主目標）の改善状況

2012 年度のエネルギー消費原単位は 8.64、1990 年度に対する改善率は 15% であった。その結果、2008～2012 年度の平均エネルギー消費原単位は 8.62、1990 年度に対する改善率は 15% となり、自主行動計画における目標（2008～2012 年度の平均エネルギー消費原単位を 1990 年度から 13% 低減する）を達成した。

フォローアップ結果概要

	目標	1990 年度 (基準)	2011 年度 (実績)	2012 年度 (実績)	11 年度比	2008～ 2012 年度 (平均)
エネルギー消費原単位（自主目標）	8.87 (0.87)	10.19 (1.00)	8.56 (0.84)	8.64 (0.85)	+0.9%	8.62 (0.85)
換算通油量（百万 kl）	—	1,263	1,818	1,824	+0.3%	—
エネルギー消費量 （千 klcoe）	—	12,866	15,558	15,751	+1.2%	—
原油処理量（千 kl）	—	205,612	198,856	198,445	-0.2%	—
CO2 排出量（万 t）	—	3,094	3,750	3,770	+0.5%	—

※単位：エネルギー消費原単位（klcoe/千 kl）換算通油量（百万 kl）エネルギー消費量（千 klcoe）

※CO2 排出量はクレジット反映後電力排出係数による実績

(2) 製油所における省エネ対策

2012 年度中に実施された製油所の省エネ対策による効果は合計で 8.8 万 klcoe/年（投資額：約 28 億円）であった。

(3) 運輸部門における省エネ対策

2012 年度エネルギー使用量は 39.1 万 klcoe で 2011 年度から約 0.7 万 klcoe 減少した。

2. 消費段階における省エネ対策

①高効率業務用ボイラの普及活動	2012 年度までの CO2 削減効果は約 7.3 万トン
②潜熱回収型石油給湯器「エコフィール」の普及活動	2012 年度末までに約 14.9 万台普及、CO2 削減効果は約 2.9 万 t/年
③石油コージェネ	2012 年度末における能力は 321 万 kW。省エネ効果は約 87 万 klcoe/年

3. 今後の予定

政府に対しては、今後開催予定の産構審・中環審合同フォローアップ会合にて報告する。

以 上